

# この金額比較を、2026年にどう読むか

正直にお伝えします

## 01 前ページの指数は、メーカーが以前に作成した概算比較です

当社が2026年の単価で計算し直したものではありません。作成時期の単価にもとづく相对比较です。

## 02 2026年の価格環境は、工種の多い工法のコストを押し上げる方向に働きます

労務単価は14年連続で上昇（2026年3月適用分は前年度比+4.5%）。石膏ボードは2026年6月出荷分から製品20%・カット加工費40%の値上げ。LGS壁は工種が多く、現場での加工も多い工法です。

## 03 「建具・ガラスが増えるほど有利」という傾向は、いまでも変わりません

パーティションの材料も同様に値上がりしています。どちらが何%という断定はできません。ただし比率がLGS側に有利な方向へ大きく振れる要素は、現時点で見当たりません。

## 04 正確な金額は、物件ごとにお見積りします

壁の長さ・高さ・建具の数と種類・ガラスの有無で金額は大きく変わります。図面をお預かりいただければ、当社の積算課が今日の単価でお出しします。